

教育研究評議会（令和8年度第2回）議事要旨

1. 日 時 令和8年5月19日（火）13:31～14:18
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
（Webex）加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各評議員（理事）
笠原、出村、上久保、加藤、細川、井上（美）、別所、河合、富谷、種池、井上（裕）の各評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、東、有賀の各課長
（Webex）元平部長
守山、山田、山本、伊賀、多田の各課長

（配付資料一覧）

- | | |
|-------|------------------------------------------|
| 資料1 | 教育研究評議会（令和8年度第1回）議事要旨（案） |
| 資料2 | 教員人事について（審議） |
| 資料3 | 海外機関との学術交流協定の締結等について |
| 資料4-1 | 教員人事について（報告） |
| 資料4-2 | 教員人事について（報告） |
| 資料4-3 | 教育推進機構特任教員選考結果報告書 |
| 資料4-4 | 特任教授等選考結果報告書 |
| 資料4-5 | 教員人事について（報告） |
| 資料5 | 学長ビジョン・イニシアティブ戦略的特任教員採用プロジェクトの成果について（報告） |
| 資料6 | 令和7年度 修士及び博士の標準修業年限内学位授与率 |
| 資料7 | 現員表（令和8年5月1日） |
| 資料8 | 令和7年度修了者の動向について |
| 資料9 | 令和7年度内部監査結果 |

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、令和8年度第1回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

（1）教員人事について

議長から、資料2に基づき、教員人事（准教授の配置換1件）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

（2）海外機関との学術交流協定の締結等について

太田理事から、資料3に基づき、海外機関との学術交流協定の締結等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

（報告事項）

（1）教員人事について

議長から、資料4に基づき、教員人事（助教の退職3件、特任准教授の更新1件、特任助教の採用1件及び招へい教員の任命1件）について報告があった。

(2) 戦略的特任教員の成果報告について

議長から、資料5に基づき、戦略的特任教員の成果について報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・資料118ページの「学長ビジョン・イニシアティブ戦略的特任教員成果報告書」に記載されている成果のうち、学術論文1および2について、いずれも「投稿中 (in submission)」となっている。通常、研究業績等のリストでは投稿中の論文は記載しないものと思われるが、今回は成果報告であるため、投稿中のものも含めて記載しているという理解でよいか。
→その通りである。教員人事等で提出される業績評価資料においては、投稿中の論文は掲載しないよう厳密に取り扱っている。一方、今回は現在の成果状況を報告する資料であるため、投稿中の論文についても成果報告の一環として記載されている。そのため、本件については、投稿中の論文を削除するよう特段依頼はしていない。

(3) 修士及び博士の標準修業年限内学位授与率について

加藤理事から、資料6に基づき、修士及び博士の標準修業年限内学位授与率について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・情報科学領域が令和6年度から令和7年度にかけて回復した要因として、具体的にどのような取組を行ったのか。
→具体的な対策を実施したわけではないが、令和6年度に数値が52%まで落ち込んだことを受け、関係教員に対して状況を共有し、改善に向けた意識喚起を行った。その結果、教員一人ひとりが尽力したことが、令和7年度の回復につながったものと考えている。

(4) 令和8年5月1日現在の在籍者数について

加藤理事から、資料7に基づき、令和8年5月1日現在の在籍者数について、報告があった。

(5) 令和7年度修了者の動向について

加藤理事から、資料8に基づき、令和7年度修了者の動向について、報告があった。

(6) 令和7年度内部監査結果について

井上事業推進部長から、資料9に基づき、令和7年度内部監査結果について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・内部監査において、軽微な事項であるものの、指摘が継続的に発生している項目については、教員の方には管理意識を持って研究室等でご指導いただきたい。

以 上